



POW 

PROTECT OUR WINTERS.JP

2020活動報告



10月-12月期

HAKUBA VALLEY SDGs宣言

10月末日、HAKUBA VALLEY TOURISMはSDGs宣言を発表。同日、昨シーズンに皆さまにご協力いただいた14,500通の署名をHAKUBA VALLEYに提出しましたこの宣言の発表に至るまで、POWはSDGs委員会の一員として各事業者などと協議を重ねてきましたが、全国から集まった署名が後押しとなり、SDGs宣言の中期目標の中では「2025年までにエリア内全スキー場が電力の再生可能エネルギーへの切り替えを進めている」が掲げられています。(SDGs宣言の詳細は次頁またはプレスリリース(https://www.hakubavalley.com/files/2816/0404/2873/HVT_SDGs_201029_HP_vfx.pdf)をご覧ください)。

中期目標のターゲットは2025年ですが、すでにHAKUBA VALLEYの複数のスキー場がこの取り組みを推進しています。白馬八方尾根スキー場はリフト9

基(全体の約50%)、エイブル白馬五竜スキー場はナイターゲレンデ全てがこの冬営業から再生可能エネルギーに切り替わります。また、白馬岩岳スノーフィールドもレストハウスなどの施設から優先的に再エネ切り替えを進めているほか、白馬さのさかでもセンターハウスで使用する電気を再エネに切り替えています。HAKUBA VALLEYは「冬を守るために」、着実に行動を起こしているのです。

SDGs宣言やスキー場の先進的な取り組みは、一人ひとりが声を上げること、それが社会の変化をもたらす原動力になることを証明してくれました。今回の署名はHAKUBA VALLEYに宛てられたものですが、その想いやメッセージは全国のスキー場に向けられたものと理解しています。このような動きが広く知れ渡り、このムーブメントが波及していくことを期待しています。



自然の豊かさと心の豊かさにあふれる 持続可能な山岳エコツーリズムの聖地へ

- 多様な生き物を育む北アルプスの山、雪、水をまもりまます
- 自然の恵みをいかして、食べ物やエネルギーの地産地消をめざします
- 人にも自然にもやさしく、住む人も訪れる人も誰もが幸せを感じられる豊かなまちをつくりまます
- 先人の知恵を大切にしながら、新たな技術で変化を生み出し、より良い社会をつくりまます
- 未来の世代に持続可能な地域を受け継ぐため、共に学びあいみんなで行動します

To be a sustainable mountain ecotourism destination, a sanctuary rich in nature and humanity

- Protect the mountains, snow and water of the Northern Japan Alps, home to all kinds of life
- Make use of the abundant resources of nature to locally produce food and energy
- Create a community where residents and visitors alike respect one another, enjoy the natural environment and be truly happy
- Build a better society by implementing innovative technological solutions while drawing from the wisdom of our ancestors
- Learn and collaborate so we can leave a better and more sustainable world to the future generations

HAKUBA VALLEY

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

SDGs ビジョン

長期目標 (国連がSDGs達成を目指す2030年)

HAKUBA VALLEYエリア内全ての事業者がSDGs取り組みチェックシートを実践しており、世界を代表する山岳エコツーリズムの聖地となっている。

中期目標 (2025年)

SDGs取り組みチェックシートがエリア内全ての事業者に配布されており、全事業者が取り組みを進めている。また、北アルプスの自然環境にとって最も脅威であり緊急性を要する気候危機に関わる項目が優先的に実践されており、HAKUBA VALLEYが持続可能なリゾートとして日本の先駆者となっている。

- ✓ 索道：エリア内全スキー場が電力の再生可能エネルギーへの切り替えを進めている
- ✓ その他、宿泊・飲食・小売の各観光関連事業者向けにも、今後数値目標を設定していく

索道

宿泊

飲食

小売

各事業者においてチェックシートを実践

LOCAL MOVEMENT

冬を守るためのムーブメント

POW JAPANの発足から丸2年、白馬エリアを中心に取り組んできた「冬を守るためのムーブメント」は少しずつ成果が見えはじめると同時に、そのうねりは日本各地のスノーエリアにも波及しはじめています。あなたの身近なスノーリゾートや自治体の取り組みを応援しよう!

長野県／野沢温泉村

気候変動を知るIN野沢温泉～自然とともに生きる野沢温泉の雪と未来のために～

90名近くの村民の皆さまに気候変動についてお話させていただきました。雪、森、水、温泉、田畑、自然豊かな野沢温泉で暮らす人々の生活は、まさに“自然とともに生きる”。POWアンバサダーの河野健児さんと河野由貴子さんを含む、野沢温泉の滑り手たちは、この豊かな自然で遊びながら、その変化にも気づいています。そんなローカルの人たちが、会場に来て「気候変動について知る」というアクションを起こしてくれたことは、とても大きな一歩でした。

(2020年10月21日)



群馬県／片品村

片品村スキー場連絡協議会講演～気候変動とスキー場の取り組み～



片品村スキー場連絡協議会にお声がけいただき、気候変動と、それに対するスキー場の取り組みを海外や白馬の事例を交えながら、お話させていただきました。この講演を機に、片品高原ス

キー場はPOWのパートナー企業に加わってくれました。この先も片品村の動きに注目し、サポートしていきます。

(2020年10月1日)

長野県／白馬村

八方尾根スキー場社員向け勉強会



パートナー企業の八方尾根開発の社員みなさまと、気候変動問題について学ぶ勉強会を実施しました。八方尾根開発が運営する白馬八方尾根スキー場は、この冬から運行するリフト／ゴンドラの約半分に相当する9基のリフトを再生可能エネルギーに切り替え、年間で約300トンのCO2排出削減が見込まれます。

自分が働くスキー場が、エネルギーシフトや気候変動に関する社員研修など、冬を守るために取り組みを積極的にしている。それは社員にとっても誇りとなるでしょう。

(2020年12月1日)

長野県／白馬村

COOL CHOICE フォーラム・気候変動と自動車～白馬に雪は降るか～(エイブル白馬五竜スキー場)

環境省のCOOL CHOICE運動の一環として、白馬村が主催するイベントのパネルディスカッションに参加。基調講演では、長野環境保全研究所の浜田崇氏が気候変動の影響を長野県、白馬村といった局地的なデータで分析し、それを踏まえ、個

人でできることを他の登壇者と共に考えました。白馬村には、様々な立場からこの問題に向き合う仲間がいること、その結果、着実に地域としての取り組みが前進していることを、あらためて実感する機会となりました。

(2020年10月24日)



北海道／札幌市

札幌 COOL CHOICE

POW JAPANは札幌市と連携し、環境省のCOOL CHOICEに取り組んでいます。札幌市内のスキー場にて「環境意識に関する実態アンケート」実施(回答のお礼にPOW JAPANと札幌市のオリジナルコラボステッカーをプレゼントしました)。

その他、小学生向けの環境情報誌「エコチル」にPOWのアンバサダーとしてプロスキーヤーの鈴木彩乃が登場。冬を守るためのクールチョイスを紹介してくれました!

(2020年12月～)



福島県／磐梯町

遊びながら学ぼう! エコ磐梯～ECO-EDUTAINMENT&MOUNTAIN CLEAN IN 磐梯山～



ローカルで滑りを楽しむご家族や、アルツ磐梯スキー場の皆さん、磐梯町の佐藤町長にもお越しいただき、環境教育プログラム「Hot Planet Cool Athlete」を実施。小学校低学年の子どもたちも真剣に聞いてくれていた姿が印象的でした。同日午後はアルツ磐梯スキー場にて、ゴミ拾いやエリアの自然を学ぶフィールド

ワークが実施され、とても充実した1日となりました。前シーズンは少雪の影響を強く受けたという磐梯エリアでも、気候の変化を感じる事象が確実に増えているとのこと。今シーズンは雪を楽しむとともに、自然や環境の変化に目を向けてくれたら幸いです。

(2020年10月18日)

新潟県／南魚沼市

雪乞CAMP(舞子スノーリゾート)



新潟県の舞子スノーリゾートで開催された雪乞CAMPに参加。ブースではシルクスクリーンを楽しみながらローカルや遠方からご来場の方とお話させていただきました。夜のステージでも気候変動問題についてお話する時間をいただきました。この日印象的だったことは、「雪が少ない冬に対し

て、気候変動問題に対して、私たちが何か行動をおこしたい」という声を南魚沼・湯沢の方々から多く聞いたこと。湯沢エリアでも冬を守るムーブメントが広がっていくように、ローカルの力を借りて継続的にアクションを起こしていきます。

(2020年10月24日)

長野県／長野市

BURTON X POW JAPAN 気候変動教育プログラム



環境教育プログラム「Hot Planet Cool Athletes」をパートナー企業でもあるBurtonのFlagship Nagano店で開催。今回はキッズ向けの企画で、当日は6組、15名の親子に参加いただきました。語り手はPOW JAPANアンバサダーの橋本通代さん。彼女がカナダで通っていた氷河の上でのサマーキャンプが氷河消失のためにクローズしてしま

った体験談を交えながら、アスリート目線で気候変動の話をしていただきました。「なぜ地球が温まってきているか?」などの質問にもキッズ達から活発に意見が出て、気候変動問題について興味を持ってもらうための良い機会になりました。

(2020年10月25日)

JAMMIN コラボ企画

京都発チャリティー専門ファッションブランド『JAMMIN(ジャミン)』(<https://jammin.co.jp/>)とコラボし、1週間限定でPOWオリジナルデザインのチャリティーTシャツ等を販売。

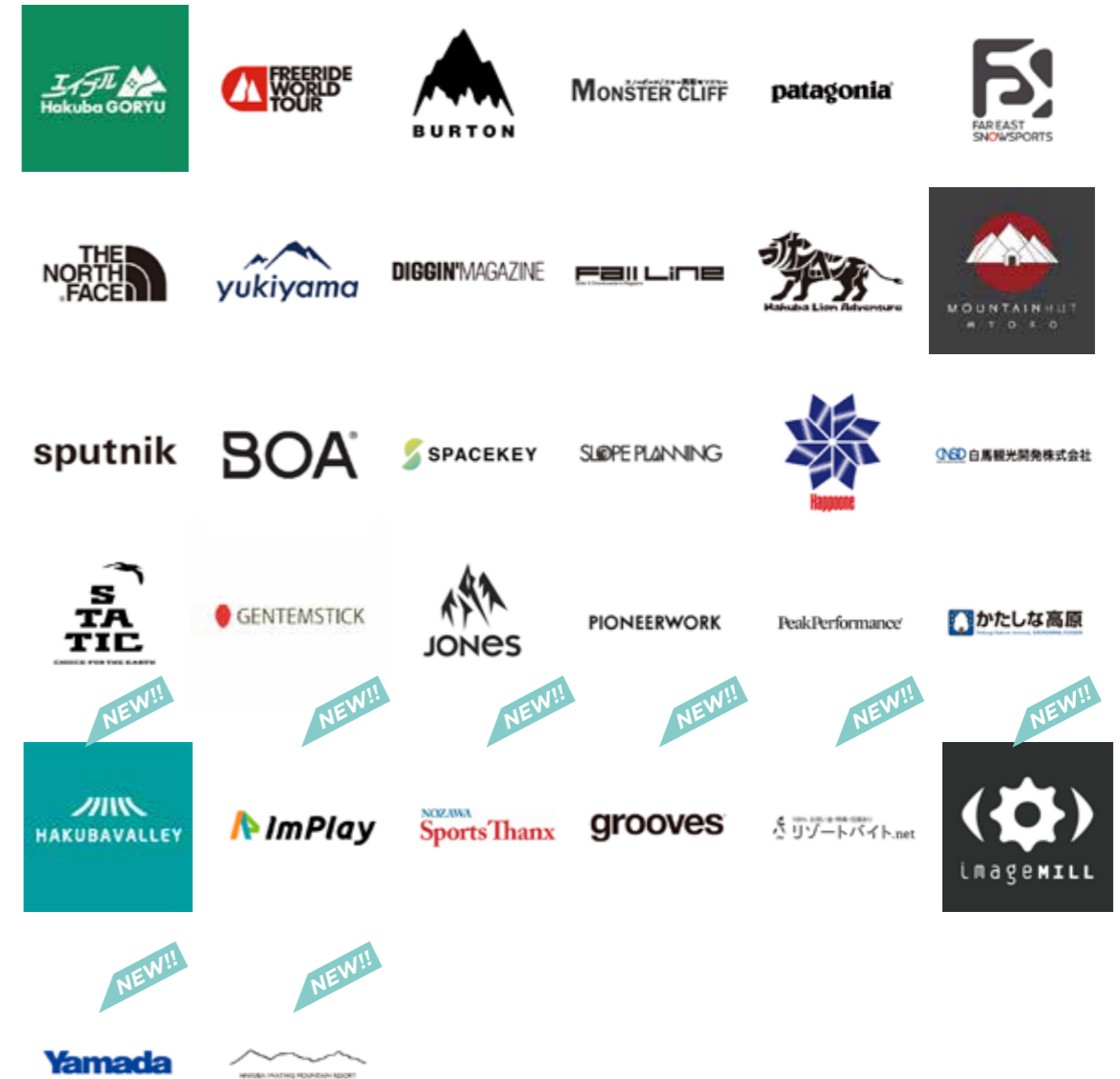
白馬の山々を忠実に描いたデザインには気候変動から環境を守り、雪のある豊かな冬と自然を後世へ残していきたいという思いを表現してもらいました。

1週間を通して800点近いアイテムをご購入いただき、チャリティーの合計金額は509,420円となりました。チャリティーにご参加いただいた皆さま、情報の拡散にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

皆さまに応援いただいたチャリティーは、「冬を守る」ためのムーブメントを各地に広げていくための活動資金として使わせていただきます。



OUR PARTNERS



PUBLICATION

メディア掲載

HAKUBA VALLEY TOURISMによるSDGs宣言表明の記者会見の様子が新聞各社に掲載

中日新聞、信濃毎日新聞、大系タイムス、日本経済新聞 (2020年10月30日)

白馬・小谷/地域情報誌「ラ・プラス」(2020年12月20日)

札幌市/環境情報誌「エコチル」(2020年北海道版12月号)

出展/協力/登壇/イベント

片品村スキー場連絡協議会講演～気候変動とスキー場の取り組み～

遊びながら学ぼう! エコ磐梯～Eco-Edutainment&Mountain clean in 磐梯山～

気候変動を知るin野沢温泉～自然とともに生きる野沢温泉の雪と未来のために

雪乞CAMP

COOL CHOICE フォーラム・気候変動と自動車 ～白馬に雪は降るか～」(エイブル白馬五竜スキー場)

BURTON x POW JAPAN 気候変動教育プログラム

札幌 COOL CHOICE

八方尾根スキー場 社員向け勉強会

Go To 脱炭素セミナー 全国都道府県巡り～長野県～

POW JAPAN 事務局より

POW JAPANは「私たちの愛する冬を気候変動から守り、未来につなぐ」という理念の下、非営利の環境団体として活動を行っています。そのため、私たちの活動の大部分は、皆さまからのご寄付とご支援に支えられています。雪山や冬を愛する仲間のサポートが、POW Japanの活動をよりパワフルで効果的なものへと押し上げてくれているのです。継続的なご支援に心から感謝申し上げます。

寄付人数:640名

寄付総額:6,169,007円

(2019年2月～2020年12月)

PHOTO CREDIT:

表紙Photo: Kazushige Fujita

「自然のサイクルのなかで恩恵を受けとめ遊ばせもろう。地球環境もそうであるように、安全にリスクを回避し判断することで新しい道が開かれる。解放するエネルギーから本来のパワーが生み出され自然と調和する瞬間。」(Rider: Arata Suzumura)

裏表紙Photo: Ayako Niki

